

平成19年12月10日

大津線のダイヤ改定を実施します

平成20年1月7日(月)から実施

1月16日(水)から京津線車両が地下鉄東西線太秦天神川駅まで乗り入れ

京阪電気鉄道株式会社(本社:大阪市中央区、社長:上田成之助)では、来る平成20年1月7日(月)から、下記のとおり大津線(京津線:7.5km、石山坂本線:14.1km、計21.6km)でダイヤ改定を実施します。

今回のダイヤ改定は、京都市交通局地下鉄東西線が平成20年1月16日(水)から二条駅~太秦天神川駅まで延伸開業し、一部京津線車両が太秦天神川駅まで乗り入れ区間を延長することに伴うものです。

なお、平成20年1月7日(月)から15日(火)までは、延伸区間となる二条駅~太秦天神川駅間で京都市交通局の訓練運転が実施されるため、一部京津線車両が太秦天神川駅まで乗り入れ区間の延長を開始するのは16日(水)からとなります。

記

1. 実施日

平成20年1月7日(月)初発から

一部京津線車両の太秦天神川駅までの乗り入れ開始は1月16日(水)からです。7日(月)から15日(火)までは、地下鉄東西線に乗り入れる京津線車両はすべて京都市役所前行き、地下鉄東西線から京津線に運転する京津線車両はすべて京都市役所前発となります。また、現行ダイヤと比較して運転本数が増減する時間帯があります。

2. 概要

(1) 平日ダイヤ

京津線

ア) 御陵から浜大津方面

- ・5時帯から24時帯まで76本の浜大津行きを運行します(うち太秦天神川発は7時帯から21時帯にかけて概ね30分間隔で28本運行、京都市役所前発はすべての時間帯で48本運行します)
- ・昼間時間帯は概ね15分間隔で浜大津行きを運行します(太秦天神川発と京都市役所前発を交互に運行します)
- ・御陵から浜大津までの標準的な運転時分は約15分です(太秦天神川から浜大

津までは約33分、京都市役所前から浜大津までは約23分です。

イ) 浜大津から御陵方面

- ・5時帯から23時帯まで76本の浜大津発御陵経由地下鉄東西線乗り入れ車両を運行します(うち太秦天神川行きは6時帯から19時帯にかけて概ね30分間隔で28本運行、京都市役所前行きはすべての時間帯で48本運行します)。
- ・昼間時間帯は概ね15分間隔で浜大津御陵経由地下鉄東西線乗り入れ車両を運行します(太秦天神川行きと京都市役所前行きを交互に運行します)。
- ・浜大津から御陵までの標準的な運転時分は約15分です(浜大津から太秦天神川までは約35分、浜大津から京都市役所前までは約25分です)。

石山坂本線

京津線との連絡の関係を考慮したダイヤ改定を行います。

(2) 土・休日ダイヤ

京津線

ア) 御陵から浜大津方面

- ・5時帯から24時帯まで76本の浜大津行きを運行します(うち太秦天神川発は7時帯から21時帯にかけて概ね30分間隔で28本運行、京都市役所前発はすべての時間帯で48本運行します)。
- ・昼間時間帯は概ね15分間隔で浜大津行きを運行します(太秦天神川発と京都市役所前発を交互に運行します)。
- ・御陵から浜大津までの標準的な運転時分は約15分です(太秦天神川から浜大津までは約33分、京都市役所前から浜大津までは約23分です)。

イ) 浜大津から御陵方面

- ・5時帯から23時帯まで74本の浜大津発御陵経由地下鉄東西線乗り入れ車両を運行します(うち太秦天神川行きは6時帯から19時帯にかけて概ね30分間隔で28本運行、京都市役所前行きはすべての時間帯で46本運行します)。
- ・昼間時間帯は概ね15分間隔で浜大津御陵経由地下鉄東西線乗り入れ車両を運行します(太秦天神川行きと京都市役所前行きを交互に運行します)。
- ・浜大津から御陵までの標準的な運転時分は約15分です(浜大津から太秦天神川までは約35分、浜大津から京都市役所前までは約25分です)。

石山坂本線

京津線との連絡の関係を考慮したダイヤ改定を行います。

〔ご参考：概略路線図〕

